

## 第180回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2004年10月28日(木) 13時~17時30分

会場: [東京理科大学薬学部校舎 薬学部1411教室\(14号館1階\)](#) [アクセス](#)  
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

## 講演主題:最新の固定相技術 ”普通じゃない固定相”

昨今、LC/MSを手法とした多くの分析において逆相分析のみならず逆逆相、HILICカラムが多く紹介されている。各メーカー協力の元、現状の把握と更なる展開に向けた内容で講演して頂く事とした。

### 講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(シグマアルドリッチジャパン)石倉 正之

2. 温度応答性ポリマー修飾充填剤 (13:05~14:45)

(共立薬科大学薬学部)金澤 秀子

3. 極性基導入型のカラムでLC/MS分析がこんなに楽になりました (14:45~14:15)

(シグマアルドリッチジャパン)石倉 正之

4. 逆逆相Atlantis HILIC Silicaカラムによる強塩基性化合物の高感度  
LC/MS(/MS)測定法 (14:15~14:45)

(日本ウォーターズ)佐々木 俊哉

5. ZIC-HILICの分離特性 (14:45~15:15)

(野村化学)長江 徳和

6. 内面修飾型自動前処理用カラムShim-pack MAYIシリーズの特性と応用  
(15:30~16:00)

(島津製作所)三上 博久

7. ODS以外のLC分配カラムの特性について (16:00~16:30)

(東ソー)伊藤 誠治

8. タンパク質を結合した固定相の3つの用途 (16:30~17:00)

(住化分析センター)西岡 亮太

9. 総括:HPLC固定相技術の課題と可能性 (17:00~17:30)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

### 参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、会員外:3,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

### カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

### 懇親会

講演終了後、講師を囲んで立食パーティーを開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

---

### 申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

### 申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号  
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会  
[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572]